

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業採択

『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進」最新の取り組み



『龍華記』創作秘話について、澤田瞳子先生を囲んでの座談会

「奈良学」フォーラムを開催
10月14日、興福寺境内にある興福寺会館において、興福寺中金堂落慶記念・本学文学部「奈良学」フォーラム「祈りと復興」を開催しました。本フォーラムは、法相宗大本山興福寺の全面的な協力を得て実施したもので、当日は、蓮花一己学長、本学特別客員教授でもある多川俊映興福寺貫首の挨拶にはじまり、文学部長清水昭博教授による興福寺旧境内の瓦窯跡の紹介、フリーアナウンサーの岡崎ゆう子氏による澤田瞳子氏最新作『龍華記』の朗読、興福寺国宝館多川文彦学芸員による拝観案内に続いて、座談会を行いました。

座談会では、「南都焼討」後の興福寺再建とそれを取り巻く人々の苦悩を描く落慶記念小説『龍華記』を手がけた歴史小説家の澤田瞳子氏、「小説野性時代」編集長の山根隆徳氏、興福寺執事の辻明俊師、清水昭博教授が登場し、『龍華記』創作の舞台裏に迫りました。会場に詰め掛けた200名を超える歴史・文学ファンは、豪華なプログラムを堪能しました。



奈良晒と大和織について説明する植村名誉教授

奈良学への招待の開講
10月20日より奈良・東生駒キャンパスにおいて公開講座「奈良学への招待×××」を開催しました。2002年度から開始した本講座も今回が17回目。全5回の連続講座で初回は文学部の岩井洋教授が「五條の歴史学的研究―交通遺産としての五新線を中心として―」、第2回は10月27日に植村和代名誉教授が「奈良晒と大和織」、第3回は11月3日に文学部の服部敦子講師が「永野鹿鳴荘の仏像写真について―デジタル化作業からわかったこと―」、第4回は11月10日に文学部の高田照世准教授指導のもとで人文科学研究科博士後期課程の西蓮寺匠さんが「斑鳩の民俗文化―奈良の生活文化研究―」、最終の第5回は11月24日に文学部の杉崎貴英准教授が「矢田地蔵縁起絵の世界―奈良北西部の歴史・文化研究―」の演題でそれぞれ講演を行いました。

文部科学省・私立大学研究ブランディング事業の一環で取り組む各事業の進捗状況の報告を兼ねた本公開講座を通して、本学の特色である「学際的『奈良学』研究」を地域の方々に広く紹介する機会となりました。



塑像と埴仏について解説する戸花講師

「東近江の古代寺院の源流を
探る」を開催
11月14日より本学附属博物館は、東近江市能登川博物館において、同館および東近江市埋蔵文化財センターとの共催で、企画展示「東近江の古代寺院とその源流―東アジアからの道―」を開催しました。11月24日には「東近江の古代寺院の源流を探る」と題してシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、本学附属博物館長で文学部長の清水昭博教授、本学考古学研究所特別研究員の甲斐弓子氏、本学附属博物館学芸員で文学部の戸花亜利州講師がそれぞれのテーマで講演し、東近江市埋蔵文化財センター所長の杉浦隆支氏のコーディネートによるパネルディスカッションでは活発な議論が展開されました。

申込不要 聴講無料

第417回 2月2日(土)14:00～15:30

「生駒を語る一信仰と観光の町、そこに住む人々」
講師：野口 朗人氏(生駒ふるさとミュージアム学芸員)

第418回 2月16日(土)13:00～16:00

「飛鳥の古代尼寺を語る」
講師：大西 貴夫氏(檀原考古学研究所指導研究員)
「韓半島の古代尼寺を語る」※通訳付
講師：李 炳鎬氏(韓国・国立弥勒寺址遺物展示館館長)

第419回 3月9日(土)14:00～15:30

「天皇即位と縁起の改元
一縁起は心を奮立たせ、招福となる」
講師：甲斐 弓子氏(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

第420回 3月23日(土)14:00～15:30

「法隆寺の瓦を求めて一聖徳太子と古代の三郷一」
講師：清水 昭博(帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長)

会場：奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室
(第420回のみ三郷町文化センター 文化ホール)

【お問い合わせ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

※詳細は帝塚山大学考古学研究所・附属博物館
ホームページをご覧ください。

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/institute/arch/>

✉ arch@tezukayama-u.ac.jp

Museum Announcements

附属博物館からのお知らせ

企画展示

第11回帝塚山大学博物館実習生による

「紙季折々一紙面から昭和～平成を振り返って」

平成31年5月に元号が改元することにちなんで、昭和や平成に起こった様々な出来事を新聞や関連する資料から振り返ります。今回の展示も実習生が企画から展示までを担当します。さらに、初の試みとして実習生が他館と交渉して資料借用も行いました。

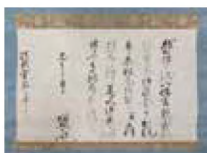
[期間] 1/11(金)～2/2(土) [入場料] 無料
[会場] 附属博物館 [開館時間] 9:30～16:30

[休館日] 日曜・祝日
※1/18(金)・19(土)・24(木)・25(金)・26(土)は休館

[展示解説] 2/2(土)15:45～

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業採択『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進
「奈良学とのであいー帝塚山大学所蔵の古文書ー」

帝塚山大学は、奈良にかかわる資史料を収集し、奈良の歴史・文化の研究や日頃の学生教育に活用しています。それらのなかには、まだ世の中に知られていない、貴重な古文書も多く含まれています。今回の特別展示では、帝塚山大学が所蔵する鎌倉時代から江戸時代にかけての古文書を中心に、さまざまな文献史料を展示します。



展示予定の古文書より
「筒井順興書状」

[期間] 2/9(土)～3/9(土) [入場料] 無料
[会場] 附属博物館 [開館時間] 9:30～16:30

[休館日] 日曜・祝日

【お問い合わせ先】

帝塚山大学附属博物館

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>

2019 January-June
INFORMATION & EVENT NEWS
お知らせ・イベントニュース

Public lectures

公開講座

帝塚山大学・(公財)奈良市生涯学習財団共催公開講座

要申込 聴講無料

『行動経済学』が解き明かすあなたの心

2017年のノーベル経済学賞は、2002年に続き「行動経済学」という耳慣れない新分野が受賞しました。この行動経済学は心理学を取り入れた経済学と言え、例えば私たちが無意識のうちに取っている行動にも心の「癖」とも言える法則性が潜んでいることを明らかにしました。第1回では行動経済学を、私たちが商品を選ぶ場面を例にして解説します。第2回では、行動経済学を応用して社会をより良くする方法「ナッジ」を、実際の例を用いて紹介します。金融工学やGDPといった何だか遠い世界ではなく、私たちの身近な生活について教えてくれる経済学を、今回の公開講座ではお届けします。

第1回 3月9日(土)10:00～11:30

「説明できますか?その商品を選んだ理由」

第2回 3月16日(土)10:00～11:30

「心の『癖』を活用した確定拠出年金とは?」

講師：竹本 亨(帝塚山大学経済経営学部教授)

定員：50名 ※全2回講座 会場：西部公民館4階会議室

【申込・お問い合わせ先】

往復ハガキ(講座名・〒住所・電話番号・名前(ふりがな)・年齢を必ず記入)
または、下記URLより「参加申込」フォームでお申込みください。
※2019年1月下旬より受付開始

公益財団法人 奈良市生涯学習財団 西部公民館
〒631-0034 奈良市学園南三丁目1番5号 西部会館内
Tel 0742-44-0101 Fax 0742-44-0103

<http://manabunara.jp/>

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業採択『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
名品・名作誕生XVI

「帝塚山大学所蔵の古文書展」によせて

要申込 聴講無料

第1回 2月9日(土)10:30～12:00

演題 「源氏物語古糸図の資料的価値」

講師：清水 婦久子(帝塚山大学文学部教授)

第2回 2月16日(土)10:30～12:00

演題 「鎌倉時代の大和国平群郡飽波郷」

講師：花田 卓司(帝塚山大学文学部講師)

第3回 3月2日(土)10:30～12:00

演題 「平安時代初期の興福寺と藤原氏」

講師：鷲森 浩幸(帝塚山大学文学部教授)

第4回 3月9日(土)10:30～12:00

演題 「大和国の近世文書」

講師：谷山 正道氏(天理大学名誉教授)

定員：各回100名 会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室

【申込・お問い合わせ先】

FAX(講座名・〒住所・電話番号・名前(ふりがな)・年齢・性別を必ず記入)
または、下記URLから講座名をクリックし、申込フォームでお申込みください。
※2019年1月7日(月)より受付開始

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>

帝塚山大学 奈良学研究推進室

Tel 0742-48-9192(月～金9時～17時) Fax 0742-48-6092